

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-34	高等学校	理 科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地基 306	改訂 地学基礎		

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は、生徒が、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを中心にして学ぶことを通して、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養うことを目指して編修しました。そのため、身近な事物・現象を題材にした話題を豊富に掲載し、生徒の興味・関心を高めることに意を用いました。また、科学的な思考力・判断力・表現力の育成を図る観点から、自らの課題意識に基づいて、主体性をもち、探究的に学習を進められるよう、本文中に、多数の観察、実験の事例を配置しました。

2. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された教育の目標を達成し、「1. 編修の趣旨及び留意点」で挙げた育成したい学力が身につくよう、下記の基本方針に基づいて編修しました。

- (1) 地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きるために必要な力を生徒自らが身につけ、生命を尊重し自然や環境の保全、社会の形成・発展に与えるようにする。また、近年の地球環境の変動に対する人間の諸活動の影響について、国際社会の協働による解決を考えさせるようにする。
- (2) 観察、実験などを通して探究の過程をたどらせることによって科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにする。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにする。
- (3) 日本の科学技術や自然環境について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにする。
- (4) 地学的な事物・現象を単なる知識の羅列として理解させるのではなく、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでの一貫したストーリーを軸にして、その軸にそった空間的な広がりの中でとらえることができるようにし、生命・自然や環境のかけがえのなさ、多様性を実感させるようにする。
- (5) 地学の学習内容には現在も研究が進められていることが多く含まれる。幅広い知識と教養を身につけることにより、どこまでが解明されていることなのか、これから解明すべきことは何であるのかを常に意識させ、地学的なものを見方を身につけ、科学的な真理を追求できるようにする。
- (6) 日常生活や社会と関わる例として、防災などに関わる職業を取り上げることにより、職業と生活の関連について理解し、勤労を重んずる態度を身につけられるようにする。

3. 対照表

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>1 編 私たちの 宇宙の進化</p> <p>■ジオパーク 大地の公園</p> <p>■1章 宇宙の構造 と進化</p> <p>■2章 太陽と惑星</p> <p>■探究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 最先端で進められている研究を取り上げることにより、職業としての科学研究について意識させ、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 観察、実験、探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 国際社会の協力を通じた視点での、科学技術の発展について考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>3 ページ</p> <p>[1章]6, 14ページなど</p> <p>[2章]21, 22, 25, 26, 27, 32, 33 ページなど</p> <p>[1章]6, 15, 17 ページなど</p> <p>[2章]21, 22, 25, 26, 27, 32, 33 ページなど</p> <p>①, ②</p> <p>[1章]16 ページなど</p> <p>[2章]21, 30, 31, 33 ページなど</p> <p>[探究活動]</p> <p>①, ②</p> <p>[1章]14 ページなど</p> <p>[2章]21, 25, 30, 31, 33 ページなど</p> <p>①, ②</p> <p>[1章]6 ページなど</p> <p>[2章]26, 27, 32 ページなど</p>
<p>2 編 私たちの 地球の変遷と 生物の進化</p> <p>■1章 地層や岩石 の観察</p> <p>■2章 生命の変遷</p> <p>■探究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 最先端で進められている研究を取り上げることにより、職業としての科学研究について意識させ、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 観察、実験、探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 地球環境の変動に、近年では人間の諸活動による影響も加わっており、国際社会の協力を通じた視点での解決を考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>[1章]46, 56 ページなど</p> <p>[2章]60, 61, 62, 67, 69, 72, 74, 75, 76, 77 ページなど</p> <p>[1章]46, 56 ページなど</p> <p>[2章]61, 62, 67, 69, 74, 75, 76, 77 ページなど</p> <p>[1章]46-53, 56-59 ページなど</p> <p>[2章]60-77 ページなど</p> <p>[探究活動]</p> <p>[1章]46-53, 56-59 ページなど</p> <p>[2章]60-77 ページなど</p> <p>[1章]46-48, 50-53 ページなど</p> <p>[2章]62, 71 ページなど</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>3 編 私たちの大地</p> <p>■1章 大地とその動き ■2章 地震 ■3章 火山 ■探究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、過去から現在まで続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 最先端で進められている研究を取り上げることにより、職業としての科学研究について意識させ、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 観察、実験などを通して探究の過程をたどらせることによって科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また防災に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 防災に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 国際社会の協力を通じた視点での、科学技術の発展について考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>[1章]88-90, 93, 95 ページなど [2章]103, 105, 107 ページなど [3章]113 ページなど</p> <p>[1章]93, 95 ページなど [2章]103, 105, 107 ページなど [3章]113 ページなど</p> <p>[1章]95 ページなど [2章]102-107 ページなど [3章]114-115, 117 ページなど [探究活動]</p> <p>[2章]102-107 ページなど [3章]114-115, 117 ページなど</p> <p>[1章]90, 93, 94, 95 ページなど [2章]102-107 ページなど [3章]110, 112-113, 118-119 ページなど</p>
<p>4 編 私たちの空と海・地球のこれから</p> <p>■1章 大気と海洋 ■2章 日本の自然の恵みと防災</p> <p>■終1章 地球環境の考え方 ■終2章 自然環境の変動 ■終3章 これからの地球環境 ■探究活動</p> <p>■暮らしに役立つ気象予報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身につけることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました。(第1号)。 日常生活や社会と関わる研究や防災などの例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身につけられるようにしました(第2号)。 観察、実験などを通して探究の過程をたどらせることによって科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった事項について学び、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました。(第3号)。 環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身につけられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました。(第4号)。 地球環境の変動に、近年では人間の諸活動による影響も加わっており、国際社会の協力を通じた視点での解決を考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身につけられるようにしました。(第5号)。 	<p>[1章]144 ページなど [2章]150, 165 ページなど [終1章]169 ページなど [終2章]173, 174 ページなど [終3章]176, 177 ページなど</p> <p>[1章]144 ページなど [2章]152-165 ページなど [終1章]169 ページなど [終2章]173, 174 ページなど [終3章]176-181 ページなど ⑤, ⑥</p> <p>[1章]140, 144, 145 ページなど [2章]146-165 ページなど [終1章]166-169 ページなど [終2章]170-175 ページなど [終3章]176-181 ページなど [探究活動] ⑤, ⑥</p> <p>[1章]144, 145 ページなど [2章]146-165 ページなど [終1章]166-169 ページなど [終2章]170-175 ページなど [終3章]176-181 ページなど ⑤, ⑥</p> <p>[1章]144, 145 ページなど [2章]146-165 ページなど [終1章]169 ページなど [終2章]170-175 ページなど [終3章]176-181 ページなど</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・中学校での学習内容とのつながりに配慮し、より学習が深められるよう、側注に「中学校で学んだこと」という説明を設けました（学校教育法第 51 条 1 号）。 →46 ページなど
- ・地学基礎の学習を通じて、将来携わる職業についての興味関心を高めることができるよう、配慮しました（学校教育法第 51 条 2 号）。 →⑤, ⑥ページなど
- ・学習内容を基に、生活のなかでの応用、地球環境に関する課題解決について考えさせるなど、幅広い視野を養い、持続可能な社会づくりの担い手を育むように配慮しました（学校教育法第 51 条 3 号）。 →180, 181 ページなど
- ・キャプションなど小さく読みにくい字にはユニバーサルデザイン書体を使用し、ユニバーサルデザインへの対応を図りました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-34	高等学校	理 科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地基 306	改訂 地学基礎		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、生徒が、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを中心にして学ぶことを通して、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養うことを目指して編修しました。

(1) 「地学基礎」の目標及び内容への対応

①地球や地球を取り巻く環境への 関心を高める

- 日常生活や社会との関連を意識しながら、地球や地球環境への関心を高められるよう、これらの内容を4編2章「日本の自然の恵みと防災」4編終1～3章「地球環境の考え方」「自然環境の変動」「これからの地球環境」のように充実した扱いとしました。

②目的意識をもって 観察、実験を通して理解する

観 察 実 験 1

ち ょ こ
ら ぼ



- 基本的な学習内容と、現象が分かりやすい観察実験に重点を置き、探究的に学習が進められるようにしました。
- 「観察実験」には、必要に応じて「注意マーク」を付記し、安全に観察実験が行えるように配慮しました。
- 身のまわりのものなどで、簡単にできる観察実験「ちょこラボ」を設け、科学に対する興味・関心を広げられるようにしました。

③科学的な見方や考え方を養う



- 地学の学習内容において、どこまでが解明されていることなのか、これから解明しなければならないことは何であるのかを常に意識させ、地学的、ひいては科学的なものの見方を身につけることができるように、最先端の研究やビジュアルな学習内容を「アースペディア」として扱いました。

図書の構成		各編の内容	該当箇所
1編 私たちの宇宙の進化	1章 宇宙の構造と進化	●「①ビッグバンと宇宙の誕生」では140億年ほど前のビッグバンで宇宙が誕生したことについて、「②天体の誕生」では、ガスが重力によって集まり恒星などの天体を形成したことについて、「③恒星としての太陽の進化とその最後」では46億年ほど前に誕生した太陽の進化について、「④銀河と天の川銀河」では私たちの住む天の川銀河をはじめ様々な銀河について、「⑤銀河の集団と宇宙の大規模構造」では銀河群・銀河団、超銀河団・大規模構造について学習します。	6～19 ページ
	2章 太陽と惑星	●「①太陽系の誕生」では微惑星の衝突合体による太陽系天体の誕生について、「②太陽系天体の特徴」では惑星・衛星・小惑星・彗星などについて、「③太陽」では太陽の特徴について、「④太陽の活動と地球への影響」では太陽活動が地球に及ぼす影響について、「⑤太陽系の広がり地球」ではオールの雲にまで広がる太陽系の領域について学習します。	20～32 ページ
2編 私たちの地球の進化	1章 地層や岩石の観察	●「①地層の形成」では地層の堆積のしかたや堆積岩について、「②地質構造」ではしゅう曲・断層・不整合について、「③変成岩」では変成作用と変成岩について、「④地層と古環境」では層序関係の調査や対比により新旧関係が明らかにできることについて学習します。	46～59 ページ
	2章 生命の変遷	●「①地球史の最初期」では地球が46億年前に誕生し海や大気、岩石を形成したことについて、「②先カンブリア時代」では生命が誕生し、大気中に酸素が放出されたことについて、「③古生代」ではオゾン層が形成され生命が陸上に進出したことについて、「④中生代」では被子植物が登場し恐竜やアンモナイトが繁栄したことについて、「⑤新生代」では哺乳類が多様化し人類が出現したことについて学習します。	60～77 ページ
3編 私たちの大地	1章 大地とその動き	●「①地球の形と大きさ」では地球の形と大きさをその解明の歴史を交えて、「②地球の構造」では地球の層構造について、「③地球内部の動き」ではマンテルの対流とプレートの動きについて、「④プレートの境界」ではプレートの3種類の境界について学習します。	88～101 ページ
	2章 地震	●「①地震のメカニズム」では震源と地震波について、「②海溝の地震」では海溝型地震が海洋プレートの沈み込みで起こることについて、「③活断層の地震」ではプレート内部で起こる地震について学習します。	102～109 ページ
	3章 火山	●「①火山ができる場所」では火山が主にできる3つの場所について、「②火山活動の多様性」ではマグマの粘性により火山活動が多様性を示すことについて、「③火成岩の観察」では火成岩が組成と結晶のしかたにより分類されることについて学習します。	110～119 ページ
4編 私たちの空と海・地球のこれから	1章 大気と海洋	●「①地球の大気」では地球大気が各圏に分けられることについて、「②地球の熱収支」では太陽放射と地球放射が釣り合っていることについて、「③大気の大循環」では大気の循環が物質やエネルギーを運搬していることについて、「④海水とその運動」では海水の循環について学習します。	130～145 ページ
	2章 日本の自然の恵みと防災	●「①日本の自然環境の特徴」では日本の自然の多様性について、「②自然の恵み」では自然の与える様々な恩恵について、「③地震による災害と防災」、「④火山による災害と防災」、「⑤気象災害と防災」、「⑥災害と人間のかかわり」では、それぞれの災害と防災・人との関わりについて学習します。	146～165 ページ
	終1章 地球環境の考え方	●「①地球環境の考え方」ではスケール・地球システムの考え方について学習します。	166～169 ページ
	終2章 自然環境の変動	●「①自然環境の変化」では自然環境の変動について、「②人間活動がもたらす自然環境の変化」では、自然環境の変動には人間活動も関わっていることについて学習します。	170～175 ページ
	終3章 これからの地球環境	●「①世界の取り組み」では環境問題に対応するための全世界的取り組みについて、「②代替エネルギー」では化石エネルギーから代替エネルギーの切り替えについて、「③持続可能な発展へ」では、これからの社会には持続可能な発展が求められることについて学習します。	176～181 ページ

(2) 組織・配列・構成

ナビ



- 地学基礎の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて、不足なく取り上げました。
- 地学基礎の扱う悠久の時間と広大な空間について、学びの手助けをするための「ナビ」を随所に設けました。
- 参照マークや参照ページを用いて、学習内容の関連を示しました。
- 「コラム」では、学習内容の理解を深めるための興味深い話題をとりあげています。
- 各編末には、生徒が自ら学習内容を振り返り、理解度を確認するための「まとめ」「編末確認テスト」を設けました。

(3) 表記・表現

中学校で学んだこと



- 編とびらには、学習内容を見渡すことができるように工夫された図版を掲載し、生徒が体系的に学習する助けとしました。さらに、節ごとにその節で学ぶ内容を簡潔に示した「1行サマリー」を設けました。
- 平易な文章で、分かりやすく、丁寧な記述を心がけるとともに、正確な図表や、美しく、内容理解を助ける写真を掲載するようにしました。
- 重要語句は太字で強調するとともに、漢字にはすべてふりがなを付しました。
- 中学校までの学習と関連づけながら学習できるように、側注に「**中学校で学んだこと**」を設けました。
- 学習指導要領に関連し、より本文を掘り下げた内容は「**メモ**」にまとめ、本文と区別して扱いました。

(4) 印刷・造本上の工夫

- 製本には針金を使用せず、接着剤で製本することで、リサイクル性を重視しました。
- 用紙には**再生紙**を用いるとともに、**植物油インキ**で印刷しました。
- レイアウト・図版の色づかいなど、ユニバーサルデザインに配慮して編修しました。また、ふりがなや、図中の小さい文字などには、**ユニバーサルデザイン書体**を使用しました。

(5) 教科書を補完する指導書の工夫

- 授業展開例、学習目標・評価規準などが分かりやすく整理された教師用指導書を発行します。指導書付属の動画コンテンツ、ワークシート、デジタル板書などの豊富なデジタルコンテンツが、ICT教育の充実をサポートします。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
	ジオパーク 大地の公園	内容(2)エ(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	①, ②	0.5
	序文	内容(1), (2) 内容の取扱い(1), (2)	3 ページ	
1 編 私たちの 宇宙の進化	編扉	内容(1)ア(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)ア	4~5 ページ	5
	1 章 宇宙の構造と進化	内容(1)ア(ア) 内容(1)ア(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)ア	6~8, 14~17 ページ 10~11 ページ	
	2 章 太陽と惑星	内容(1)イ(ア) 内容(1)ア(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)ア	20~27, 32~33 ページ 28~31 ページ	5
	まとめ・編末確認テスト	内容(1)ア(ア), ア(イ), イ(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)ア	34~35 ページ	4
	探究活動	内容(1)ウ 内容の取扱い(1)イ, (2)ア	36~43 ページ	
2 編 私たちの 地球の変遷と 生物の進化	編扉	内容(2)イ(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	44~45 ページ	5
	1 章 地層や岩石の観察	内容(2)イ(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	46~53, 56~59 ページ	
	2 章 生命の変遷	内容(2)イ(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	60~77 ページ	5
	まとめ・編末確認テスト	内容(2)イ(ア), イ(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	78~79 ページ	4
	探究活動	内容(2)オ 内容の取扱い(1)イ, (2)イ	80~85 ページ	
3 編 私たちの大地	編扉	内容(2)ア(ア), ア(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	86~87 ページ	5
	1 章 大地とその動き	内容(1)イ(イ) 内容(1)イ(ウ) 内容(2)ア(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)ア, イ	88~90 ページ 92~93 ページ 94~99 ページ	
	2 章 地震	内容(2)ア(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	102~107 ページ	5
	3 章 火山	内容(2)ア(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	110~119 ページ	5
	まとめ・編末確認テスト	内容(1)イ, (2)ア 内容の取扱い(1)ア, (2)ア, イ	120~121 ページ	
	探究活動	内容(1)ウ, (2)オ 内容の取扱い(1)イ, (2)ア, イ	122~127 ページ	4

4 編 私たちの空と海・ 地球のこれから	編扉	内容(2)エ(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	128～129 ページ	5
	1 章 大気と海洋	内容(2)ウ(ア) 内容(2)ウ(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	130～137 ページ 140～145 ページ	
	2 章 日本の自然の恵みと 防災	内容(2)エ(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	146～165 ページ	5
	終1 章 地球環境の考え方	内容(2)エ(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	166～169 ページ	2
	終2 章 自然環境の変動	内容(2)エ(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	170～175 ページ	3
	終3 章 これからの地球環境	内容(2)エ(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	176～181 ページ	2
	まとめ・編末確認テスト	内容(2)ウ, エ 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	182～184 ページ	
	探究活動	内容(2)オ 内容の取扱い(1)イ, (2)イ	185～191 ページ	4
	センターチャレンジ	内容(1), (2) 内容の取扱い(1)ア, (2)	192～195 ページ	1
	地球と生命の歴史表 惑星の諸量	内容(2)イ(イ) 内容(1)イ(ア) 内容の取扱い(1)ア, (2)	④	0.5
	くらしに役立つ気象予報	内容(2)エ(イ) 内容の取扱い(1)ア, (2)イ	⑤, ⑥	
			計	70

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-34	高等学校	理科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地基 306	改訂 地学基礎		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
9	銀河の成長	1	内容(1)ア(ア)
12, 13	宇宙での物質循環	1	内容(1)ア(イ)
15	さまざまな銀河	1	内容(1)ア(ア)
17	銀河団と暗黒物質	1	内容(1)ア(ア)
18, 19	宇宙の謎をさぐる	1	内容(1)ア(ア)
30	太陽黒点数の変化	1	内容(1)ア(イ)
31	地球の磁気圏と太陽風	1	内容(1)イ(ア)
52	鉱物が示す変成作用の温度と圧力	1	内容(2)イ(ア)
54, 55	地質構造の規模	1	内容(2)イ(ア)
59	放射性元素による年代測定	1	内容(2)イ(イ)
71	酸素同位体比から推定された気候変動	1	内容(2)イ(イ)
91	地球の回転と重力	1	内容(1)イ(イ)
100, 101	地震波と地球内部の構造	1	内容(1)イ(ウ)
108, 109	さまざまな地震	1	内容(2)ア(イ)
112	マグマが発生するしくみ	1	内容(2)ア(イ)
138, 139	雲と降水のメカニズム	1	内容(2)ウ(ア)
140	塩類の比率	1	内容(2)ウ(イ)
141	海水の塩分と密度	1	内容(2)ウ(イ)
143	海洋の熱塩循環	1	内容(2)ウ(イ)
170	太陽放射量の変動	1	内容(2)エ(ア)

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 26 ページ)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容